

お話を伺いました・・・・・・・・

ふるいちただお

前号、神戸市長田区在住の古市忠夫さん(77歳)にお聞きした阪神淡路大震災からの教訓のお話の続きです。



## なぜ、震災から5年でプロゴルファーになれたのでしょうか?

不思議ですね。自分の中で価値観が変わったことが大きいです。震災前は、お金や名声が大事だと思い、写真屋として売上を追いかけしていました。家族を養わなければいけない、趣味のゴルフにも行きたい、美味しい物を食べたい、、、そのためにお金を追いかけていました。

でも、震災ですべてを失いました。残っていたのは、命だけでした。そこに気づいたとき、今まで眠っていた脳細胞が働いて、自分だけの力ではない、神がかりのような出来事が起こって導かれました。でも、世間では多くの方が、価値観を変えるという事がなかなかできない。お金より健康が大事、命が大事だっということが頭でわかっているけど、できないんです。人間とは不思議です。価値観が変わり、感謝の気持ち芽生えれば、そんなことを望んでいないのに、運ばれていく。本当に、周りの人に生かしてもらっている、支えてもらっていると思っていれば、『ありがとう』が心の底から湧いてきます。たくさんの方のお陰



▲2000年にプロテスト合格。合格できたのは、体力でも技術でも飛距離でもなく、『心』で勝負できたから。

でプロゴルファーにならせてもらったと思っているから、自治会のボランティア活動も行っています。町内会長もしています。朝、通学路の見回りや掃除もします。一般のプロゴルファーだったら、

来週大きな大会を控えていたら練習に没頭して、自治会のボランティア活動も町内会長も引き受けていないでしょう。近所の人たちは、私が練習せずにボランティアばかりしていたので、プロゴルファーというのは簡単になれるものだと思っています。自分の力ではない。支えてくれるみなさんのお陰だと感じて感謝しているからこそ、プロになって10勝もできたんだと思います。タイガーウッズ選手とのラウンドもさせていただきました。自分で言うのもなんですが、本当にいい勝負だったんです(笑)普通、タイガーウッズ選手を大会に招待するとなれば、スポンサーからの支払いが当時1億5千万円でした。個人ではとても用意できる金額ではありません。自分の力だけではなく、夢が一つ叶った瞬間でした。

## 震災後、前を向いて歩めた人と、なかなか前に進めない人には、どんな違いがあったと思いますか?

そこまでの人生を、1995年1月17日午前5時46分までの人生をどのように歩んできたか。それが問われるんだと思います。これまでにいい加減な人生や、地に足がついていない人生、見栄を張った人生を過ごしてきた人と、コツコツと地に足をつけて歩んできた人間が、問われると思いました。もっと極端な言い方をすれば、見栄を張った人間は、自分を見失い、アルコールに依存したり、自ら命を絶ったりしています。あれだけの困難に直面したとき、これを乗り越えられるのは、それまでの人生をコツコツとやってきた人間なんだと。震災後は、人間の醜さと、すばらしさの両方を見ました。

当時、妻に言っていたのは、『とにかく、正直に生きよう。悔いのないように生きよう。』でした。こんな時だからこそ、金儲けをしようとした、自分の土地を広げようとした人もいます。自分だけ助かろうとして、物を持ち出した人もいました。本当に色々な人を見ました。人が『助けてくれ!』と言っているのに、知らん顔して出ていく人もいました。一人や二人じゃなく、何人も何人も見ました。そんな光景を見ていましたが、私が自宅から持ち出したのは、携帯電話だけでした。家が全焼するまでに時間はありましたが、貴重品を取りに行く時間よりも救助を優先していました。貴重品や位牌を持ち出すことも出来たでしょうが、周囲から聴こえる救助を求める声に答え続けました。2日間で11人救助しました。あのとき、三つの顔を見ました。ひとつは、自分の事だけをした顔。ひとつは、呆然とした顔。ひとつは、一生懸命救助した顔。一番多かったのは、呆然とした顔でした。胸元に通帳を抱えて、救助の声を無視して逃げている人も見ました。一方で、つぶれた家屋から救助するため柱を切る必要があったので、必死で『のこぎりあり



▲タイガーウッズ選手のサイン入り帽子とグローブ。「アスリートゴルフ世界一決定戦 フェニックスチャレンジ」のトーナメント初戦で、夢だったタイガーウッズ選手とのマッチプレーが実現。(2005年11月15日に開催)

ませんかー!』と叫んだら、隣のご主人がのこぎりを持ってきてくれました。柱を切り、救助することができました。そうやって助けようとする素晴らしい人たちもいました。

次回は、古市さんが大切にされている「心」の大切さについてお話を伺います。

全国避難者情報システム

## ふるさとネットの登録について

この情報紙からからは「ふるさとネット」の登録情報より発送しております。「ふるさとネット」に登録していると北海道からのお知らせや、教育・福祉・医療に関する相談のご案内といった情報が提供されます。

**転居、登録解除、定住の場合はご連絡ください。**

- 引越など住所を変更された方→住所変更
- 避難元に帰還される方→登録解除
- 道外へ転居される方→登録解除
- 道内に定住される方→登録解除

- 【連絡先】**
- 避難先の市町村の窓口またはお電話で。
  - 北海道総合政策部 地域振興局 地域政策課地域政策グループ TEL.011-204-5800  
メール/shienhonbu@pref.hokkaido.lg.jp
  - 北海道広域避難アシスト協会 TEL.011-375-0521

※住民票の異動、郵便局への転居届等の手続きとは異なり別途手続きが必要になります。

お問い合わせ先

北海道総合政策部 地域振興局 地域政策課地域政策グループ  
(北海道道外被災県・避難者支援対策本部事務局)  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 道庁本庁舎4F  
電話 011-204-5800 FAX 011-232-1126  
※道では全国避難者情報システムの呼称を「ふるさとネット」としています

※お預かりした個人情報は、避難者の支援のために利用するほか、避難先都府県への提供など、限定した目的のみ利用し、その他の目的には一切使用いたしません。